

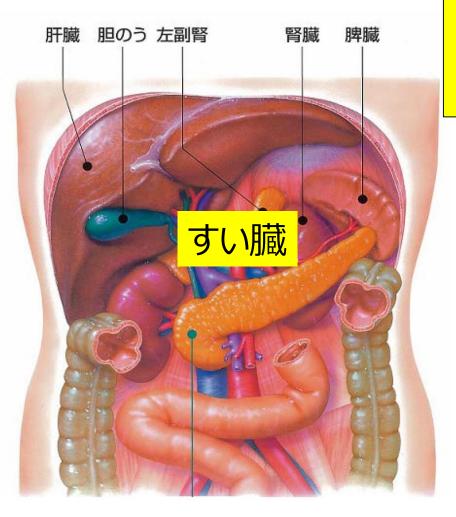




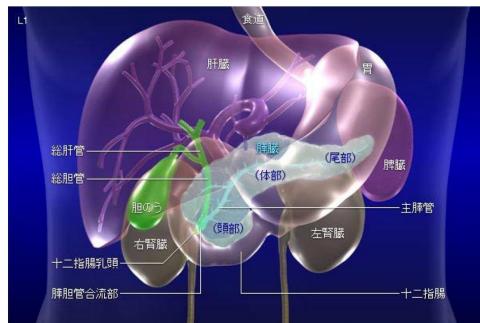
糖尿病とすい臓がんのこと ~早期診断に大切なこと~

JA尾道総合病院 診療部長 花田敬士

すい臓



- 体の奥(胃の裏)にあります。
- ・背中側に張り付いています。
- ・ホルモン(インスリンなど)
- ・消化液(すい液)を出します。
- ·大きさ: 15~20cm
- ·重さ:100gほど



すい臓を詳しくみてみましょう



3-9cm

尾部



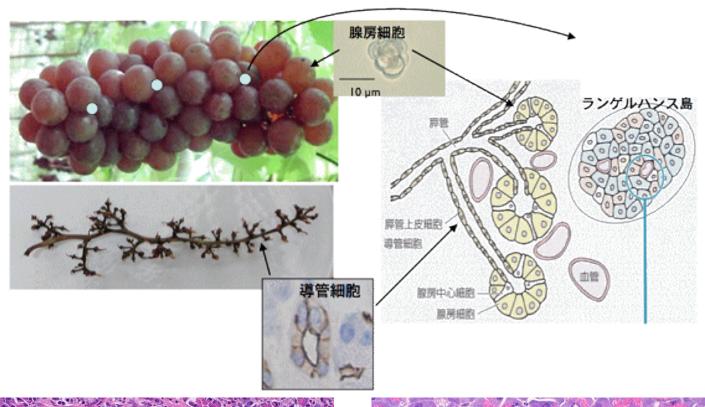
膵 膵 膵 体 部 膵 尾 部

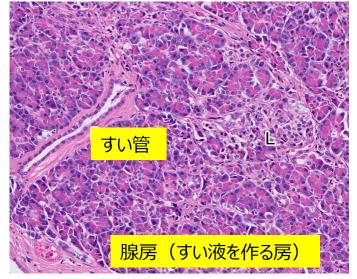
十二指腸

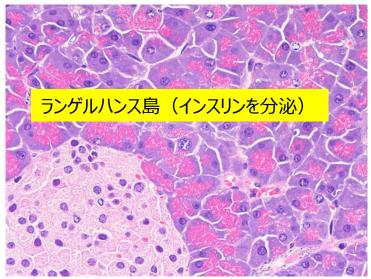
すい液: 食事が十二指腸に 来れば流れる 一日1.5リットル

一日1.5リットル 脂肪、たんぱく、糖 すべて消化 体部 厚み: 1.4-4cm † 15-25cm †

すい臓がんは大半がすい管にできます







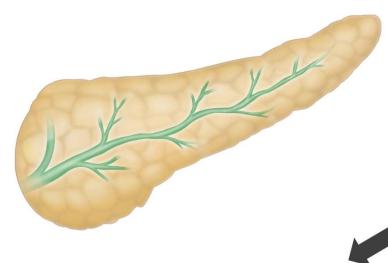
すい臓がんはどのように進行するのか?



正常なすい臓

がんがすい管に発生した結果、その場所が狭くなる

- →上流側からのすい液が流れにくくなり
- →すい管の幅が広くなる



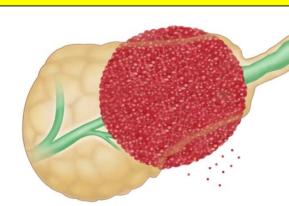
がんが固まりを作る →上流側のすい液が出なくなりすい臓

がやせてくる(萎縮)

がんがすい臓外へこぼれる(転移・播種)



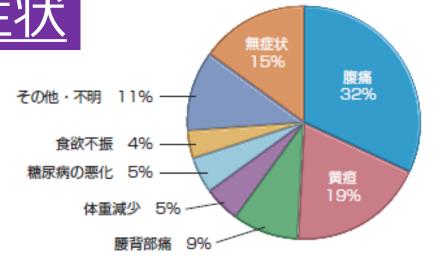
すい液もインスリン も出にくくなる



すい臓がんの症状

X

- 早期の場合は75%が無症状
- ・糖尿病の悪化に 要注意



膵がんの初発症状(%)

(日本膵臓学会膵癌登録委員会:膵癌登録報告2007.膵臓2007;22:e64より引用)

- がんの場所により 症状が出にくい ことがあります。
- ・症状がなくても エコーなどの検査 で異常があれば 精査をうけましょう!

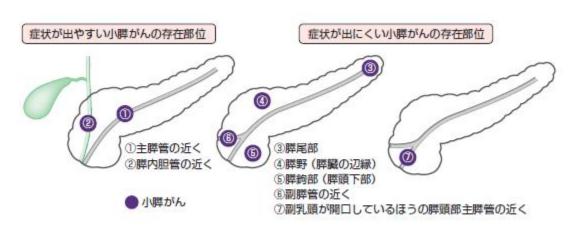


図2 小膵がんの存在部位と症状の有無

(膵癌診療ポケットガイド, 医学書院, p32, 2010より改変)

外来で行う血液検査





すい臓がんに関する血液検査の項目

- ✓ すい酵素(食事を消化する働きをみる)
 - ・アミラーゼ
 - ・リパーゼなど
- ✓ 血糖値の動き(インスリンの働き具合)
 - •空腹時血糖、随時血糖
 - ・ヘモグロビンA1cなど
- ✓ すい臓がんが作るタンパク質 (腫瘍マーカー)
 - ·CEA
 - ·CA19-9
 - ・DUPAN-2など



数値の高低は、がん の直接の発見につな がらない



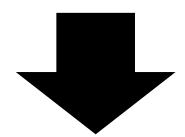
血糖値の上昇は要注意

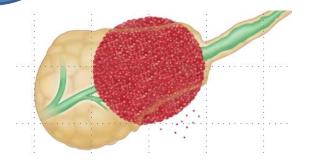


早期の診断には限界



ということは、、、、 すいがんが進行したらインスリ ンが出なくなって、血糖があが るのかな?



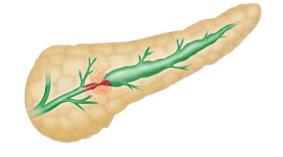


すいがんの早期診断に血糖の異常って役に立つの?

Stage 0, I すい臓がんとは



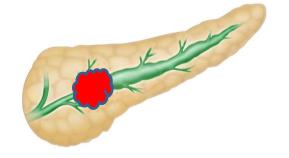
Stage 0



Tis N0 M0

非浸潤がん (High grade PanIN)

Stage IA



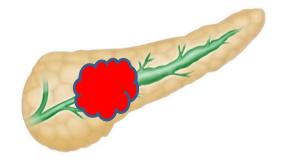
T1 N0 M0

腫瘍がすい臓に限局しており 最大径が2cm以下である

T1a:5mm以下、T1b:5-10mm

T1c: 10-20mm以下

Stage IB



T2 N0 M0

腫瘍がすい臓に限局しており 最大径が2cmを超えるもの

膵癌診療ガイドライン(2019年版)







委員長:奥坂拓志先生 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科



副委員長:中村雅史先生 九州大学臨床腫瘍外科





北野雅之



古瀬純司



花田敬士



伊藤芳紀





糖尿病

タバコ(本数が増えるほど危険) すいのう胞 (すい臓の小さなふくろ) 慢性すい炎 お酒の飲み過ぎ(1日3合以上) 太りすぎ(特に30代) 親兄弟・姉妹にすい臓がんがいる 慢性B型肝炎 胃潰瘍をしたことがある ヘリコバクターピロリ感染 歯周病

複数ある場合は、高危険群として、すい臓の検査をすすめる

国際すい臓学会誌2018に掲載



Contents lists available at ScienceDirect

Pancreatology

journal homepage: www.elsevier.com/locate/pan



Multicenter study of early pancreatic cancer in Japan

Atsushi Kanno ^{a,*}, Atsushi Masamune ^a, Keiji Hanada ^b, Hiroyuki Maguchi ^c, Yasuhiro Shimizu ^d, Toshiharu Ueki ^e, Osamu Hasebe ^f, Takao Ohtsuka ^g, Masafumi Nakamura ^g, Mamoru Takenaka ^h, Masayuki Kitano ⁱ, Masataka Kikuyama ^j, Toshifumi Gabata ^k, Koji Yoshida ¹, Tamito Sasaki ^m, Masahiro Serikawa ⁿ, Toru Furukawa ^{o, p}, Akio Yanagisawa ^q, Tooru Shimosegawa ^a, for the Japan Study Group on the Early Detection of Pancreatic Cancer (JEDPAC)

日本国内の主要施設

2006年-2016年

外科的切除例

Stage 0: 51 例

Stage I: 149 例

^a Division of Gastroenterology, Tohoku University, Graduate School of Medicine, Japan

^b Department of Castroenterology, JA Onomichi General Hospital, Japan

^c Center for Gastroenterology, Teine-Keijinkai Hospital, Japan

^d Department of Gastroenterological Surgery, Aichi Cancer Center Hospital, Japan

^e Department of Gastroenterology, Fukuoka University Chikushi Hospital, Japan

f Department of Castroenterology, Nagano Municipal Hospital, Japan

⁸ Department of Surgery and Oncology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Japan

h Department of Gastroenterology and Hepatology, Kindai University, Faculty of Medicine, Japan

i Second Department of Internal Medicine, Wakayama Medical University, School of Medicine, Japan

^j Division of Gastroenterology, Shizuoka General Hospital, Japan

k Department of Radiology, Kanazawa University Hospital, Japan

Department of Interventional Bilio-Pancreatology, Kawasaki Medical School, Japan

m Department of Gastroenterology, Hiroshima Prefectural Hospital, Japan

Department of Gastroenterology and Metabolism, Hiroshima University Hospital, Japan

o Institute for Integrated Medical Sciences, Tokyo Women's Medical University, Japan

P Department of Histopathology, Tohoku University, Graduate School of Medicine, Japan

^q Department of Pathology, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan

患者さんの特徴



	全例 (200例)	Stage 0 (51例)	Stage I (149例)
性別(男性/女性)	111/89	29/22	82/67
平均年齢(才)	68.8	69.3	68.5
観察期間中央値(日)	1240	1392	1189
部位(頭部/体部/尾部:%)	43/52/5	33/59/8	46/49/5
危険因子(%)			
糖尿病	32	26	34
喫煙	31	39	28
すいのう胞性病変	26	39	22
慢性すい炎	15	31	9
大量飲酒	13	20	11
肥満	7	8	6
家族歴	5	2	5

(Kanno et.al 2018を改変) Onomichi General Hospital

診断されたきっかけ



診断契機	全例 (%) (200例)	Stage 0 (%) (51例)	Stage I (%) (149例)
症状あり	50(25.0)	16(31.4)	34(22.8)
精査中の異常発見	34/200(17)	10/51(19.6)	24/149(16.1)
USの異常所見	31/34(91.2)	10/10(100)	21/24(87.5)
すい管拡引	長 21/34(67.7)	10/10(100)	11/21(52.4)
腫瘤性病変	芝 9/31(29)	0/10(0)	9/21(42.9)
腫瘍マーカーの上昇	1/34(2.9)	0/10(0)	1/24(4.2)
他疾患スクリーニング中の発見	103/200(51.5)	18/51(35.3)	85/149(57)

(Kanno et.al 2018を改変)



具体的には

- 糖尿病の症状が出現したとき、またコントロールが悪くなった時
- 慢性肝炎など別の病気で腹部エコーを受けたとき偶然発見
- "みぞおちのあたりが痛い"との訴えで、心臓病を疑って、循環器のの先生にかかり、狭心症の疑いで冠動脈CTをとった時

糖尿病、喫煙、肥満...動脈硬化の病気と危険因子が 共通している

糖尿病とすい臓がん



● 日本膵臓学会の『膵癌登録』では、すい臓がんの25.9%に糖尿病を合併。

(日本膵臓学会 2007)

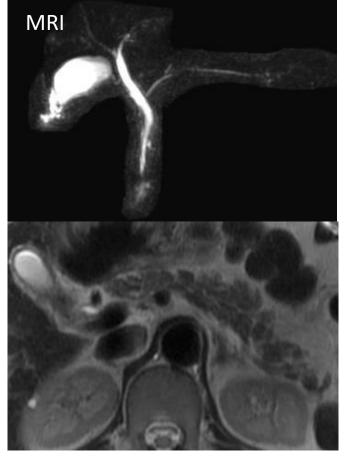
● 糖尿病はすい臓がんの危険が約2倍。

(Batabyal et al. 2011, Inoue et al. 2006, Pang et al. 2017)

● すい臓がんの発症は糖尿病が発症して2年以内に最も多い。糖尿病の新規発症は早期診断の大きな手ががりとなる。

(Ben et al. 2011, Liao HC et al. 2012)

- 喫煙と慢性膵炎は、特に糖尿病患者のすい臓がん発症リスクを増加させる。 (Lai et al. 2013)
- 米国では空腹時血糖の上昇を、すい臓がん早期診断の指標にする方針。 (Shrma et al. 2018)





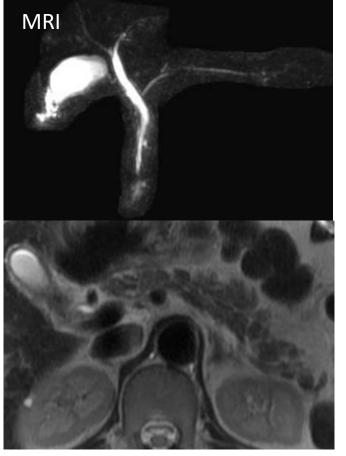




20XX/07 CT

2>

9.2



7.2

CEA (ng/ml) 1.6

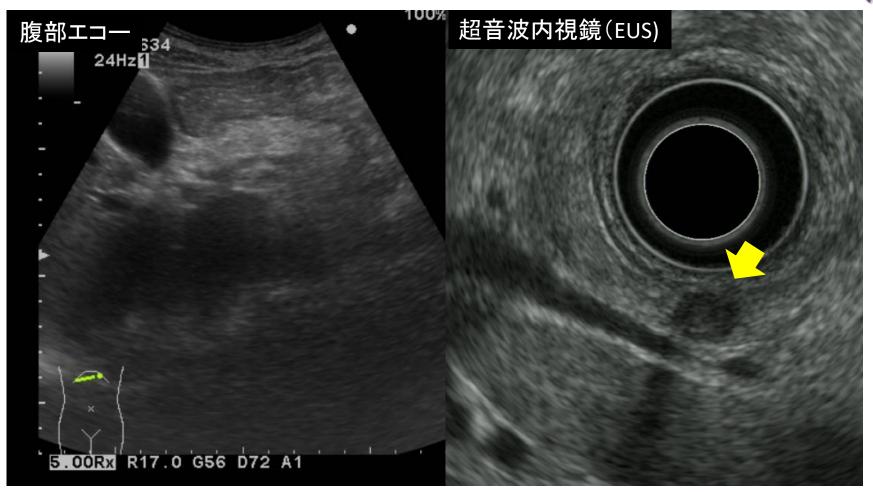
CA19-9 (U/ml) 2>

HbA1c









腫瘍径:8mm Stage Ia







PANCREATIC CANCER

Early Detection of Pancreatic Cancer: Opportunities and Challenges











Suresh T. Chari



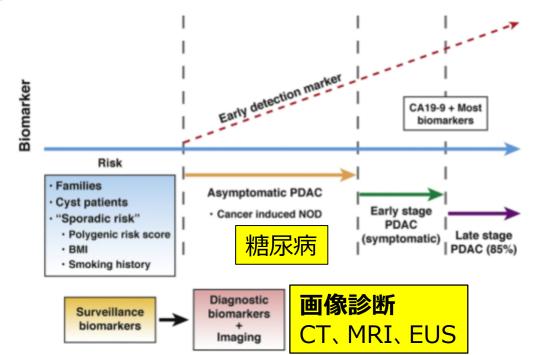
Aatur D. Singhi

Eugene J. Koay^{2,3}

Anirban Maitra

¹Department of Pathology, University of Pittsburgh Medical Center, Pittsburgh, Pennsylvania; ²Department of Radiation Oncology, University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, Texas; ³Sheikh Ahmed Center for Pancreatic Cancer Research, University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, Texas; ⁴Division of Gastroenterology and Hepatology, Mayo Clinic, Rochester, Minnesota; and ⁵Department of Translational Molecular Pathology, University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston, Texas







みなさんにお願いです



すい臓がんを早期に診断するには、、お医者さん任せではいけません。

- ◆ すい臓がんの**危険因子**を知ってください(喫煙、糖尿病、家族歴、すいのう胞など)。
- ◆ きっかけは、腹部エコーの"すい管の拡張"、"すいのう胞"が多い。
- ◆ 症状が出てからでは厳しい。
- ◆ 精密検査は、外来で安全にできます(超音波内視鏡やMRI)。
- ◆ かかりつけの先生に"私のすい臓は大丈夫でしょうか?"の一言を
- ◆ 危険因子があれが、人間ドックのエコーも考慮しましょう。
- ◆ 尾道地区には、"すい臓学会指導医"がおります。
- ◆糖尿病が悪化したら、"すい臓"の確認を先生にお願いしましょう。
- ◆ "経過を見ましょう"という先生の指示を守りましょう。

